

※数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況
 ◎…すでに目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 ○…目標数値を達成する見込みが高いもの（令和元年度末時点）、概ね目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 △…目標数値を達成する見込みが低いもの（令和元年度末時点）

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標（KPI）	基準値（現状）		目標値	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成状況の評価・検証
			年度	値	H31（R1）		H30	H29	H28	H27		
基本目標① 嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる												
1	4	交流人口（観光客数）	H26	1,998千人	2,258千人	△	1,967千人	2,071千人	2,048千人	2,032千人	観光商工課	観光客数（全体）については、H29までは毎年、前年比プラスで推移するも、H30は大型施設の休業や豪雨災害など突発的要因により前年比マイナスとなった。
2		人口の社会増減	H26	△135人	△99人	△	△202人	△149人	△86人	△216人	市民課	都市部への人口流出傾向のなか、特出した本市の優位性を見出すまでに至らず、目標の人口社会減少数まで改善していない。年度によって減少幅に大小がある状況。
(1)観光客の誘致促進・国際交流活動の推進												
3	5	観光客数	H26	1,998千人	2,258千人	△	1,967千人	2,071千人	2,048千人	2,032千人	観光商工課	上記、交流人口（観光客数）の項目に同じ
4		外国人観光客数（宿泊）	H26	38.5千人	126千人	○	120千人	120千人	87.6千人	63.9千人	観光商工課	インパウンドの流れ及び継続的な東アジア諸国への誘致活動等により、当初の目標値を大きく上回る実績となった。（目標値は途中で上方修正）現状は国際情勢の悪化で韓国人観光客が激減。
5		宿泊数（国内・国外）	H26	544千人	679千人	△	587千人	635千人	612千人	603千人	観光商工課	継続的な観光プロモーションや魅力創出事業等により、H29までは毎年、前年比プラスで推移するも、H30は突発的要因により観光客数（全体）と同じく前年比マイナスに転じた。
(2)移住支援及び定住支援												
6	6	市が支援した移住者数【累計】	H26	3人	40人	△	5人 (0人)	5人 (0人)	5人 (0人)	5人 (2人)	企画政策課	空き家バンク事業により、空き家の利用促進に努めるも、すぐに居住可能な登録空家物件が少なく目標値を下回る実績となった。
7		定住奨励制度による定住者数【累計】	H26	150人	750人	◎	923人 (233人)	690人 (207人)	483人 (197人)	286人 (136人)	企画政策課	定住奨励制度により、市内での居住資産取得による転入促進及び市内からの転出抑制に繋がり、目標値を上回る実績となった。
(3)文化の薫るまちづくりの推進												
8	6	社会文化会館「リバティ」における文化イベントの集客数	H26	1,000人	2,000人	◎	3,576人	5,230人	3,164人	1,745人	文化・スポーツ振興課	「リバティ」開館後の継続した文化振興のための各事業やイベント開催等により、目標値を大きく上回る実績となった。
(4)人と地域が元気になるスポーツの推進												
9	7	スポーツ合宿参加者数	H26	5,000人	10,000人	○	9,426人	3,700人	6,133人	5,867人	文化・スポーツ振興課	継続した文化・スポーツ大会等誘致補助金交付事業等により、毎年恒例の合宿・大会等も開催されなど、H30は目標値と同水準の実績となった。
10		スポーツボランティア登録者数【累計】	H26	0人	500人	△	0人	0人	0人	0人	文化・スポーツ振興課	スポーツボランティア登録制度の導入までに至っていない。ボランティアによるスポーツイベントへの参加の定着など仕組みづくりが必要。

【第1期嬉野市総合戦略】

基本目標にかかる数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び効果検証シート

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標(KPI)	基準値(現状)		目標値	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況の評価・検証
			年度	値	H31(R1)		H30	H29	H28	H27		
(5)ひとにやさしいまちづくりの推進												
11		外国人や障がい者にも対応できるユニバーサルデザイン(UD)ガイド登録者数【累計】	H26	0人	20人	◎	29人 (17人)	12人 (3人)	9人 (9人)	0人 (0人)	企画政策課	佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター(BFTS)のユニバーサルデザイン(UD)ガイド育成事業により、目標値を大きく上回る実績となった。
12	8	宿泊施設を利用する障がい者、高齢者、外国人向け避難訓練の実施【累計】	H26	0回	100回	△	2回 (0回)	2回 (0回)	2回 (2回)	0回 (0回)	企画政策課	日々営業している宿泊施設での避難訓練は実施が困難な状況。施設側の自主性や実施方法に委ねられ啓発活動の実施のみとなっている。
13		パラリンピックの正式種目「ボッチャ」競技人口【累計】	H26	0人	1,400人	△	420人 (98人)	322人 (130人)	192人 (102人)	90人 (90人)	企画政策課	佐賀嬉野BFTSや地域コミュニティでの各種大会・イベントにより、UDスポーツ「ボッチャ」の認知度向上・普及促進に努めたが、目標値の達成までには至っていない。
(6)新幹線を生かしたまちづくりの推進												
14	9	新幹線嬉野温泉駅前整備率【累計】	H26	0%	40%	◎	41.0%	36.3%	26.1%	0.0%	新幹線・まちづくり課	嬉野医療センターの移転開業、区域内道路等の一部供用開始など目標の整備率を達成した。今後も2022年度の新幹線開業に向け、街の賑わい創出等を念頭に駅前周辺整備が進められる。
(7)ふるさと教育の推進												
15	9	市内在住高校生への卒業後に関する質問で「嬉野市に住む」又は「嬉野市から出ていくが将来は嬉野市に戻ってきたい」と回答する生徒の割合	H27	30%	40%	—	—	—	—	—	企画政策課	現時点でKPI達成が判定できない。 (今年度の調査実施予定)

次期への引継事項 【課題・継続・重点事項】	・【観光振興】… さらなる国内外観光客を呼び込む魅力づくりや誘客プロモーション、組織した嬉野版DMOを中心とする「観光で稼ぐ」仕組みづくり、広域連携による観光ルート形成など。 ・【移住・定住支援】… 移住地として選んでもらうための魅力づくりや環境づくり、空き家バンク制度の充実、お試し移住やサテライトオフィス制度の創設など。 ・【文化・スポーツ振興】… 地域における各種文化・芸術の推進とそれを担う人材の育成支援、地域スポーツの推進と国スポ・全障スポ開催を契機としたスポーツボランティア登録制度の検討など。 ・【ひとにやさしいまちづくり】… さらなるユニバーサルツーリズムの推進、市民や事業所等の観光客受け入れのためのUD意識向上と普及啓発、UDやバリア情報発信の充実など。 ・【新幹線まちづくり】… 新幹線嬉野温泉駅開業に向けた周辺整備の促進とプロモーション、駅前周辺の賑わいづくり推進、新幹線駅と温泉街をはじめとした市内各地を結ぶ二次交通の検討など。 ・【ふるさと教育の推進・嬉野への愛着醸成】… 嬉野市史編纂や地域資源を通じての郷土学習、観光や定住以外に嬉野市と関わりを持つ関係人口の増大(ふるさと応援寄附金事業の推進)など。
--------------------------	---

※数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況
 ◎…すでに目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 ○…目標数値を達成する見込みが高いもの（令和元年度末時点）、概ね目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 △…目標数値を達成する見込みが低いもの（令和元年度末時点）

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標（KPI）	基準値（現状）		目標値 H31（R1）	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成状況の評価・検証
			年度	値			H30	H29	H28	H27		
基本目標② 嬉野市で働きたい“しごと”をつくる												
16	10	新規雇用者数【累計】	H26	0人	180人	△	30人 (2人)	28人 (17人)	11人 (11人)	0人 (0人)	広報・広聴課	企業誘致、企業進出・拡充支援、起業支援などの各事業が、大きく実を結ぶまでには至らず、目標値の下回る実績となった。
(1) 企業誘致ビル整備による新たな雇用の創出												
17	10	企業誘致による新規雇用者数【累計】	H26	0人	150人	△	12人 (0人)	12人 (7人)	5人 (3人)	2人 (2人)	広報・広聴課	進出協定を締結している企業の事業計画変更及び新たに進出協定を締結する企業がなかったことにより、目標値の達成までには至っていない。
(2) 地場を支える市内企業への支援充実及び地元大学との連携												
18	11	市内企業支援拡充及びマッチング支援による新規雇用者数【累計】	-	-	15人	△	5人 (0人)	5人 (0人)	5人 (5人)	0人 (0人)	観光商工課	市内事業所拡充支援（1件：5人）のみの新規雇用者数に留まり、目標値の達成までには至っていない。
(3) 次世代を支える起業支援の推進												
19	11	市が支援した起業件数【累計】	-	-	15件	△	6件 (1件)	5件 (2件)	3件 (2件)	1件 (1件)	観光商工課	毎年度、1～2件の空き店舗活用事業による新規開業があったが、目標値の達成までには至っていない。
(4) 魅力ある地域商工業の創造												
20	12	観光消費額	H26	13,881百万円	16,462百万円	△	14,408百万円	15,382百万円	15,012百万円	14,797百万円	観光商工課	H30は観光客数の減少に伴い観光消費額も減少した。今後は消費単価アップにも力を入れた仕組みづくりも課題となる。
21		商店街の空き店舗率【累計】	H26	19.7%	14.2%	△	17.8%	17.7%	18.3%	19.6%	観光商工課	空き店舗活用事業等により新規開業もあったが閉店する店舗もみられ、目標値の達成までには至っていない。
(5) うれしの茶の販路・需要開拓												
22	13	海外販路開拓に向けた商談成立件数【累計】	-	-	10件	◎	13件 (6件)	7件 (6件)	1件 (1件)	0件 (0件)	農業政策課	ジェトロ佐賀等関係機関と連携した海外販路開拓により、目標値を上回る実績となった。（目標値は途中で上方修正）
23		西九州茶連における嬉野市生産者の販売高	H26	823,667千円	1,148,425千円	△	794,000千円	858,603千円	844,670千円	831,011千円	農業政策課	昨今、集荷先が多様化している状況にあり、H30は西九州茶連への販売高が前年比マイナスに転じた。出荷量増大とともに品質向上も求められる。
24		新たな接点の売り場への「うれしの茶」出荷量	-	-	5.6トン	△	0.02t	0.07t	0.06t	0.0144t	農業政策課	新需要開拓事業により、新たな売り場への集荷の足掛かりとなったが、目標値の達成までには至っていない。

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標(KPI)	基準値(現状)		目標値 H31(R1)	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況の評価・検証
			年度	値			H30	H29	H28	H27		
(6) 活力ある担い手の育成と農業後継者の確保												
25		任意営農組合の法人化数【累計】	H26	1組合	10組合	△	8組合 (0組合)	8組合 (1組合)	7組合 (1組合)	6組合 (5組合)	農業政策課	各地区で任意営農組合の法人化が進み、営農における基盤整備が促進されたが、目標の法人数にまでには至らなかった。
26	14	営農組合の未組織地区での組織設置数【累計】	H26	0組織	2組織	△	1組織 (0組織)	1組織 (0組織)	1組織 (0組織)	1組織 (1組織)	農業政策課	未組織地区での営農組合組織化が図られ、営農における基盤整備が促進されたが、目標の組織設置数にまでには至らなかった。
27		青年就農者の確保【累計】	H26	17人	32人	△	19人 (1人)	18人 (6人)	12人 (-3人)	15人 (-2人)	農業政策課	JAや農業委員等との連携により青年就農者の掘り起こしに努めたが、目標の青年就農者数(給付金交付対象)にまでには至らなかった。
(7) “うれしのブランド”づくりと“稼ぐ”農業への取組												
28		“うれしのブランド”野菜の作目数【累計】	H26	0種類	3種類	◎	3種類 (0種類)	3種類 (0種類)	3種類 (0種類)	3種類 (3種類)	農業政策課	営農者やJA等との連携により、「うれしのブランド」化のための野菜(さといも、ほうずき、ケール)が作付けされた。今後は「うれしのブランド」としての確立・定着が課題となる。
29	15	酒造用米の作付面積【累計】	H26	117ha	150ha	△	110ha (8ha)	102ha (-13ha)	115ha (-24ha)	139ha (22ha)	農業政策課	需要と供給のバランスにより、大幅な作付面積拡張にまでは至っていない状況。先頃、品質の良い酒米生産のための法人が組織された。
30		6次産業化に取り組む農業者数【累計】	H26	5人	10人	△	6人 (0人)	6人 (0人)	6人 (0人)	6人 (1人)	農業政策課	現状、6次産業化に取り組む農業者数は目標値までに至っていない状況。今後、関係機関等と連携した6次産業化の取組み支援が課題となる。

次期への引継事項 【課題・継続・重点事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・【新たな雇用創出】… 新設する企業誘致ビル等への企業進出による雇用増大、企業を誘致するためのシティプロモーション、企業誘致支援制度の拡充など。 ・【市内企業支援・起業支援】… 市内企業支や起業支援制度の拡充、地元企業及び大学・地域との連携による地元志向の醸成、インターンシップ受入れ体制の強化など。 ・【商工業振興】… 地域資源を活かした地域ブランドの確立や新商品の開発・販路拡大、空き店舗活用した新規出店・賑わいづくり、観光消費額アップに向けた取組みなど。 ・【うれしの茶振興】… さらなるうれしの茶の生産拡大と品質向上に向けた取組み、関係機関との連携による海外販路開拓、チャオシル等を活用したうれしの茶のPR強化など。 ・【農業振興の分野】… 地域ブランド作物の確立や「稼げる農業」に向けての取組み、活力ある農業の担い手育成、6次産業化の推進など。
--------------------------	---

※数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況
 ◎…すでに目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 ○…目標数値を達成する見込みが高いもの（令和元年度末時点）、概ね目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 △…目標数値を達成する見込みが低いもの（令和元年度末時点）

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標（KPI）	基準値（現状）		目標値	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成状況の評価・検証
			年度	値	H31（R1）		H30	H29	H28	H27		
基本目標③ 嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる												
31	16	出生数【累計】	H26	178人	1,100人	○	937人 (191人)	746人 (187人)	559人 (194人)	365人 (187人)	市民課	出産適齢期の人口も減少しているなか、毎年度、わずかではあるが基準年度（H26）の年間出生数を上回る出生数となった。
32		合計特殊出生率			1.75	—	平成29年度（概算） 佐賀県合計特殊出生率（1.64）	(1.57)	(1.57)	(1.57)	市民課	市町別の合計特殊出生率は、H20～H24（1.57）以降、最新値が未算出（H30佐賀県：1.64）
(1)結婚支援の充実												
33	16	出会いの場におけるカップル成立数【累計】	H26	12組	80組	○	68組 (11組)	57組 (20組)	37組 (15組)	22組 (10組)	企画政策課	婚活パーティーやバスツアー等出会いの場の提供により、概ね当初目標のカップル成立数を達成する見込み。R1の開催イベントは年3回から年4回に拡充。
34		結婚支援事業登録者数【累計】	H26	78人	150人	△	101人 (8人)	93人 (10人)	83人 (23人)	60人 (-18人)	企画政策課	結婚支援事業登録者数は、登録有効期間満了や退会等での減少もあり目標値にまで達していない。登録有効期間を2年から4年へ変更。
35		結婚を応援する事業所登録数【累計】	H26	0事業所	30事業所	△	7事業所 (3事業所)	4事業所 (2事業所)	2事業所 (2事業所)	0事業所 (0事業所)	企画政策課	登録対象者が多い比較的大きい市内事業所に協力を依頼しているが、目標値の達成には至っていない。時代の流れもあり事業所からの勧奨等の取組みが困難となってきている。
(2)妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援												
36	17	不妊治療費助成件数	H26	27件	30件	△	15件	24件	24件	24件	健康づくり課	現在、県の不妊治療助成を拡充する形で市助成事業を実施しているが、助成件数としては伸び悩み目標値の達成には至っていない。
37		不育症治療費助成件数	H26	0件	3件	△	0件	0件	0件	0件	健康づくり課	県内でも先進的な事業として取組みを開始したが、保険適用となってきた部分もあるなど、現状では助成実績がない状況である。県でも助成事業を開始。
38		訪問指導・健康相談（妊産婦、乳幼児、学童）	H26	4,605人	4,900人	△	3,838人	3,155人	2,696人	4,590人	健康づくり課	妊産婦、乳幼児、学童などを対象とする一体的な訪問指導及び健康相談事業を実施しているが、目標値の達成までには至っていない。各年度によって実績数に幅がある状況。

【第1期嬉野市総合戦略】

基本目標にかかる数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び効果検証シート

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標(KPI)		基準値(現状)		目標値	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標(KPI)達成状況の評価・検証
		年度	値	値	H31(R1)	H30		H29	H28	H27			
(3)安心して子どもを育てられる環境の確保													
39		延長保育事業 (利用者数)	H25	46人	76人	△	53人	48人	46人	44人	子育て未来課	継続した延長保育事業を実施しているが、ここ数年の推移としては微増の状況。今年10月からの保育無償化によるニーズ変化などの動向を把握していく。	
40	18	病児・病後児保育事業 (利用者数)	H25	9人	151人	△	40人	64人	61人	44人	子育て未来課	基準年度からは大幅に伸びているものの、近年は横ばいで推移している。対応可能施設が市内に1か所でも他市との提携による事業実施を開始した。	
41		ファミリー・サポート・センター事業 (利用者数)	H25	177人	200人	◎	239人	171人	80人	87人	子育て未来課	ファミリー・サポート・センター事業の周知・定着により、目標値を上回る実績となった。会員登録の促進及びサポーターの質向上などに努めていく。	
42		「男は仕事、女は家庭」という考えに反対する市民の割合	H23	53.7%	70.0%以上	—	—	—	61.1%	—	企画政策課	現時点でKPI達成が判定できない。 (5年ごとの調査で次回はR3年度実施予定)	
(4)特色ある教育の推進と確かな学力の育成													
43		全国学力学習状況調査(小学)	H26	小6は全教科、 全国平均以上	全教科、市の 平均を全国平均 以上	△	国語: 全国平均以上 算数: 全国平均以下	4区分のうち1 区分で全国平均 を上回る	4区分のうち3 区分で全国平均 を上回る	国語A、算数A で全国平均を 上回る	学校教育課	各年度とも目標値達成までには至っていない。ただし、平均以下の教科についても大きな差(ビハインド)とはなっていない状況。	
44	19	全国学力学習状況調査(中学)	H26	中3は全教科全国 平均以下(県平均 と同等)	全教科、市の 平均を全国平均 以上	△	国A・数A:全国 平均以上 国B・数B・理科: 全国平均以下	全教科全国平均 以下	全教科全国平均 以下	全教科全国平均 以下	学校教育課	各年度とも目標値達成までには至っていない。ただし、平均以下の教科についても大きな差(ビハインド)とはなっていない状況。	
45		電子黒板【累計】	H26	全普通教室: 73%	特別教室を含む 全教室: 100%	○	普通教室:100% 特別教室:配置 なし	普通教室:100% 特別教室:配置 なし	普通教室:100% 特別教室:配置 なし	普通教室:100% 特別教室:配置 なし	学校教育課	市内全小中学校普通教室への整備率は100%を達成した。目標値としていた全特別教室への整備は再検討が必要。	
46		特別支援教育支援員の配置	H26	13人	必要とする全 ての学校へ配 置	○	15人	13人	13人	13人	学校教育課	多様化する学校教育環境のなかで、必要とする全ての小中学校への一応の配置が完了した。	

次期への引継事項

- 【結婚支援】… 結婚支援事業登録者及び結婚応援事業所の増大、魅力ある出会いの場の提供やお見合い・セミナーの開催等による結婚支援事業の拡充など。
- 【妊娠・出産・子育て支援】… 不妊・不育症治療費助成制度の活用促進、妊娠出産期から乳幼児・学童に至るまでの子育て相談等充実など。
- 【子育て環境の確保】… 子育て支援サービスの充実、「こどもセンター」整備による一体的な子育て相談の強化、家庭・仕事の両立のための男女が協力するライフワークバランスの推進など。
- 【教育振興】… 小中学生の基礎学力向上や学習習慣の定着、市副読本「生きる力」を活用した自己防衛力育成等生きる力の伸長、地域コミュニティとの連携による地域とともある学校づくりの推進など。

※数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況
 ◎…すでに目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 ○…目標数値を達成する見込みが高いもの（令和元年度末時点）、概ね目標数値を達成しているもの（H30年度末時点）
 △…目標数値を達成する見込みが低いもの（令和元年度末時点）

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標（KPI）	基準値（現状）		目標値	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成状況の評価・検証
			年度	値	H31（R1）		H30	H29	H28	H27		
基本目標④ 嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる												
47	20	自主防災訓練を実施する地域コミュニティ数	H26	3地区	7地区	◎	7地区	7地区	4地区	3地区	企画政策課	地域コミュニティ活動の定着・充実に伴い、市民の防災意識の高まりもあり、全7地区で自主防災訓練を実施することができた。
48		健康寿命	H23	男：79.00歳 女：84.02歳	延伸	◎	男：79.59歳 女：84.35歳	男：79.52歳 女：84.22歳	男：78.89歳 女：84.14歳	-	健康づくり課	平均寿命とともに健康寿命も延伸している状況。現在は県での算出・公表を行っておらず、今後、数値目標とするには課題が残る。（市独自算出も困難）
(1) コミュニティ活動の促進												
49	20	自主防災訓練を実施する地域コミュニティ数【累計】	H26	3地区	7地区	◎	7地区 (0地区)	7地区 (3地区)	4地区 (1地区)	3地区 (0地区)	企画政策課	上記、自主防災訓練を実施する地域コミュニティ数の項目に同じ
(2) 妊地域で安全・安心のまちづくり												
50	21	消防団員数	H26	1,045人	1,050人	○	1035人	1,044人	1,048人	1,045人	総務・防災課	青年層の人口も減少しているなか、地域での確保対策や支援団員等により、近年も概ね条例定数程度を維持できている状況である。
51		女性消防団員数	H26	38人	40人	◎	41人	36人	42人	37人	総務・防災課	青年層の人口も減少している中ではあるが、地域・職場等のネットワーク等により、目標値を達成できている状況にある。
52		防災に関する地元説明会の開催【累計】	H26	25行政区	88行政区	○	82行政区 (2行政区)	80行政区 (19行政区)	61行政区 (30行政区)	31行政区 (6行政区)	総務・防災課	計画的な防災に関する地元説明会開催により、市内全地区において防災啓発が図られ、目標値を達成できる見込みとなった。
53		防犯灯のLED化【累計】	H26	335/3,000	1,988/3,000	○	1,563/3,000	1,183/3,000	883/3,000	335/3,000	総務・防災課	計画的な防犯灯LED改修事業の実施により、目標値を達成できる見込みとなった。引き続き、整備・改修事業を継続していく。
(3) 空き家対策の推進												
54	21	特定空家等認定率【累計】	H26	0%	100%	◎	100%	0%	0%	0%	総務・防災課	今年度、1件の特定空家等を認定し（行政代執行により解体）認定率は100%となった。ただし、特定空家等認定率を数値目標とするのは不適と考える。

【第1期嬉野市総合戦略】

基本目標にかかる数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び効果検証シート

番号	頁	数値目標・重要業績評価指標(KPI)	基準値(現状)		目標値 H31(R1)	達成状況	実績値				担当課	数値目標・重要業績評価指標(KPI) 達成状況の評価・検証
			年度	値			H30	H29	H28	H27		
(4)健康長寿のまちづくり												
55		特定健康診査受診率	H26	39.2%	45.0%	○	44.7%	44.0%	43.2%	40.9%	健康づくり課	受診しやすい特定健診の取組み(集団・夜間・休日健診の実施)や受診啓発等により、概ね目標値の達成に至った。
56		特定保健指導受診率	H26	55.5%	60.0%	◎	61.2%	75.2%	54.0%	63.2%	健康づくり課	生活習慣病の予防啓発や受診啓発等により、各年度で受診率の幅あるものの目標値を達成できた。
57		人間ドック事業受診者数(国保被保険者含む)	H26	131人	150人	△	70人	102人	128人	94人	健康づくり課	社保での人間ドック助成事業の活用もあり、市の助成事業受診者数は低い水準にある。現在、国保では特定健診に注力している状況。
58		脳ドック事業受診者数(国保被保険者含む)	H26	201人	210人	△	166人	164人	181人	172人	健康づくり課	脳ドック検査費用助成事業により、脳血管疾患の早期発見やその他疾病の予防を推進しているものの、目標値の達成までには至っていない。
59	22	がん検診(胃がん)	H26	12.2%	15.0%	△	10.1%	11.1%	11.7%	11.4%	健康づくり課	がん検診の受診促進(夜間・休日検診実施等)及び普及啓発に努めているものの、目標値の達成までには至っていない。
60		がん検診(子宮がん)	H26	30.7%	35.0%	○	33.7%	34.8%	34.0%	30.9%	健康づくり課	がん検診の受診促進(夜間・休日検診実施等)及び普及啓発により、女性特有のがんの早期発見・早期治療の認識が高まり、概ね目標値の達成に至った。
61		がん検診(乳がん)	H26	33.0%	35.0%	◎	36.2%	37.9%	37.6%	33.6%	健康づくり課	がん検診の受診促進(夜間・休日検診実施等)及び普及啓発により、女性特有のがんの早期発見・早期治療の認識が高まり、目標値の達成に至った。
62		がん検診(大腸がん)	H26	24.4%	30.0%	△	24.7%	25.8%	26.3%	24.3%	健康づくり課	がん検診の受診促進(夜間・休日検診実施等)及び普及啓発に努めているものの、飛躍的な受診率向上にまでには至っていない。
63		がん検診(肺がん)	H26	22.3%	25.0%	△	23.1%	24.4%	24.5%	22.1%	健康づくり課	がん検診の受診促進(夜間・休日検診実施等)及び普及啓発に努めているものの、飛躍的な受診率向上にまでには至っていない。
64		がん検診(前立腺がん)	H26	29.1%	35.0%	△	30.8%	32.1%	31.1%	28.4%	健康づくり課	がん検診の受診促進(夜間・休日検診実施等)及び普及啓発に努めているものの、飛躍的な受診率向上にまでには至っていない。
(5)高齢者が元気で住み続けられるまちづくり												
65	23	一般介護予防事業の参加者数(延べ)	H26	介護予防事業(一次)の参加者数:4,076人	11,000人	◎	21,829人	12,955人	5,282人(一次)	3,954人(一次)	福祉課	各地域での積極的な介護予防教室の開催により、目標値を大きく上回る実績となった。引き続き、介護予防教室及び啓発事業等を拡充していく。
66			H26	介護予防事業(二次)の参加者数5,494人					5,670人(二次)	5,508人(二次)		
67		認知症サポーター数	H26	1,012人	1,600人	○	1,592人	1,479人	1,318人	1,012人	福祉課	地域・職場・学校等での認知症サポーター講座開催により、様々な世代の認知症への理解が深まり、サポーター数も目標値を上回る見込みとなった。(目標値は中途で上方修正)
(6)地域における身近な移動手段の確保												
68	24	公共交通利用者数	H26	372,000人	372,000人	△	350,054人	355,948人	360,463人	364,506人	新幹線・まちづくり課	人口減少に加え、自家用車利用の傾向が強まるなか、公共交通利用者数の維持・向上は困難となっている。新たな公共交通及び移動手段の仕組みづくりの検討が必要。

次期への引継事項

- ・【コミュニティ活動】… 自主的・積極的な各地域コミュニティ活動の支援、継続した各地区や各地域コミュニティによる自主防災活動の推進、地域コミュニティ活動状況等の情報発信充実など。
- ・【安心安全なまちづくり】… 消防団活動の推進及び消防団確保対策の充実、自助・共助の取組みなど防災への意識向上や普及啓発、交通安全対策及び空き家対策の推進など。
- ・【健康長寿まちづくり】… 市民全体の健康意識の醸成・向上、特定健康診査・がん検診等の受診率向上と受診促進のための普及啓発、保健指導体制の充実など。
- ・【元気で住み続けられるまちづくり】… 介護予防教室等による介護状態や運動機能低下の防止、地域・職場・学校等での認知症サポーター養成講座等による認知症を地域で支える体制づくり促進など。
- ・【身近な移動手段の確保】… 地域を結ぶ既存交通路線の存続、市内全域の公共交通ネットワークの見直し・検討など。